

平成17年度

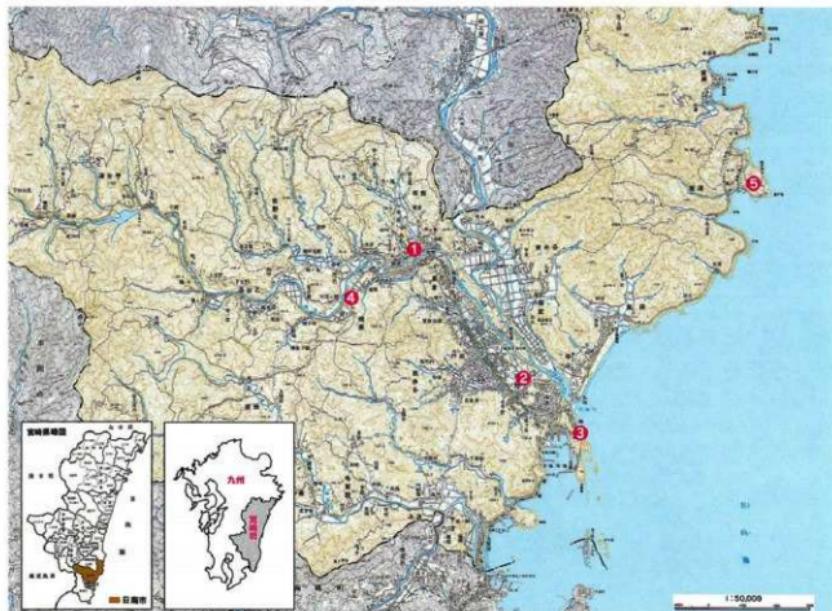
日南市内遺跡発掘調査概報

2006.3

宮崎県日南市教育委員会

平成17年度
日南市内遺跡発掘調査概報

1. 願成就寺納骨堂建設予定地(談義所遺跡)
2. ダイナム宮崎日南店建設予定地
3. サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地(古奥遺跡)
4. MRTラジオ局及びメガソーラー建設予定地(八幡原遺跡外)
5. 菊戸山別当墓地周辺調査



2006.3

宮崎県日南市教育委員会

巻頭カラー



(瀬戸地区航空写真)

序

この報告書には、日南市教育委員会において平成17年度に実施した埋蔵文化財の有無を確認するための発掘調査の概要を記載しております。

本市教育委員会において、埋蔵文化財保護の立場から、各種開発行為に先立ち試掘調査を実施することができたことは、非常に有意義なことだと思われます。また、今後市内で行われるであろう多くの各種開発行為に伴う未確認の埋蔵文化財についても、開発側等との充分な情報交換や協議などをすすめ、その保護に資するよう努力を重ねていきたいと思います。

最後になりましたが、調査を実施するにあたり、埋蔵文化財の保護に格別のご配慮とご理解を賜りました各開発関係者各位並びに地元の方々に厚くお礼を申し上げます。また、調査にあたりまして、ご指導・ご助言をくださいました宮崎県教育庁文化財課や現地調査及び整理作業にご協力いただいた作業員の方々にも重ねてお礼を申し上げます。

平成18年3月

日南市教育長 安野喜宏

例　　言

1. 本書は、平成17年度に日南市教育委員会が各種開発行為に先立ち埋蔵文化財の有無を確認するために実施した発掘調査の概要である。

2. 掲載した調査地は、
 1. 願成就寺納骨堂建設予定地（日南市祇肥一丁目8401-1-2）
 2. ダイナム宮崎日南店建設予定地（日南市大字平野字元屋敷2686番外）
 3. サンキヨウ紙工株式会社倉庫建設予定地（日南市大字梅ヶ浜5828-24）
 4. MRTラジオ局及びメガソーラー建設予定地（日南市大字楠原）
 5. 鵜戸山別当墓地周辺調査（日南市大字宮浦3232）

3. 調査主体・・・日南市教育委員会

教　育　長　安野　喜宏

社会教育課長　藤原　英一

補佐兼文化係長　岡本　武憲

庶務担当・・・・・・教育総務課主事　辻原　直美

調査担当・・・・・・主　　事　鬼束　絃樹

調査作業員・・・・・・・・・・・・岩永典良、杉元早苗、谷口キヨ子、金丸恵美子、川越數馬、
中村吉春、中村映子、藤川泰憲、藤下義彦

整理作業員・・・・・・・・・・・・外山　律子

4. 現地調査は、鬼束が行った。

5. 実測及びトレースは、鬼束、岡本が行った。

6. 本書の編集執筆は、岡本が行った。

7. 各トレンチについての方位は磁北、レベルは、海拔高にて示した。

本文目次

1. 願成就寺納骨堂建設予定地 (談義所遺跡)	1
位置と環境	1
調査の経緯	1
調査の結果	1
2. ダイナム宮崎日南店建設予定地	
位置と環境	3
調査の経緯	3
調査の結果	3
3. サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地 (古奥遺跡)	
位置と環境	7
調査の経緯	7
調査の結果	7
4. MRTラジオ局及びメガソーラー建設予定地 (八幡原遺跡外)	
位置と環境	10
調査の経緯	10
調査の結果	10
5. 繩戸山別当墓地周辺調査	
位置と環境	21
調査の経緯	21
調査の結果	21

挿図目次

第1図 願成就寺納骨堂建設予定地 位置図	1
第2図 願成就寺納骨堂建設予定地 トレンチ配置図	2
第3図 ダイナム宮崎日南店建設予定地 位置図	3
第4図 ダイナム宮崎日南店建設予定地 トレンチ位置図	4
第5図 ダイナム宮崎日南店建設予定地 トレンチ土層図	4
第6図 ダイナム宮崎日南店建設予定地 ポーリング柱状図	6
第7図 サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地 位置図	7
第8図 サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地 トレンチ位置図	8
第9図 サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地 トレンチ土層断面図	8
第10図 MRTラジオ局外建設予定地 位置図	10
第11図 MRTラジオ局外建設予定地 トレンチ位置図	11
第12図 MRTラジオ局外建設予定地 トレンチ土層断面図その1	12
第13図 MRTラジオ局外建設予定地 トレンチ土層断面図その2	13
第14図 繩戸山別当墓地周辺調査 位置図	21
第15図 繩戸山別当墓地配図	22
第16図 繩戸山別当墓地周辺調査 位置図(拡大)	22

図版目次

巻頭カラー	・・・・・	・・・・・ 繩戸地区航空写真
図版1 願成就寺納骨堂建設予定地 トレンチ全景	2	
図版2 ダイナム宮崎日南店建設予定地 トレンチ調査状況	5	
図版3 サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地 トレンチ調査状況	9	
図版4 MRTラジオ局外建設予定地 トレンチ調査状況その1	14	
図版5 MRTラジオ局外建設予定地 トレンチ調査状況その2	15	
図版6 MRTラジオ局外建設予定地 トレンチ調査状況その3	16	
図版7 MRTラジオ局外建設予定地 トレンチ調査状況その4	17	
図版8 MRTラジオ局外建設予定地 トレンチ調査状況その5	18	
図版9 MRTラジオ局外建設予定地 トレンチ調査状況その6	19	
図版10 MRTラジオ局外建設予定地 トレンチ調査状況その7	20	
図版11 繩戸山別当墓地周辺調査状況	23	

願成就寺納骨堂建設予定地
(談義所遺跡)

〔位置と環境〕

願成就寺納骨堂建設予定地は、日南市飫肥一丁目8401-イ-2の願成就寺境内南西部に位置する。この地点は周知の埋蔵文化財包蔵地番号302の談義所遺跡内であり、造構、遺物が出土する可能性が高いと予想された。

願成就寺の立地するシラス台地は、飫肥城の東に位置しており、室町時代には日向安国寺が建立されるなど、古くから開発された場所である。現在は、願成就寺や常楽院と数棟の民家を除けば、墓地や畠として使用されている。

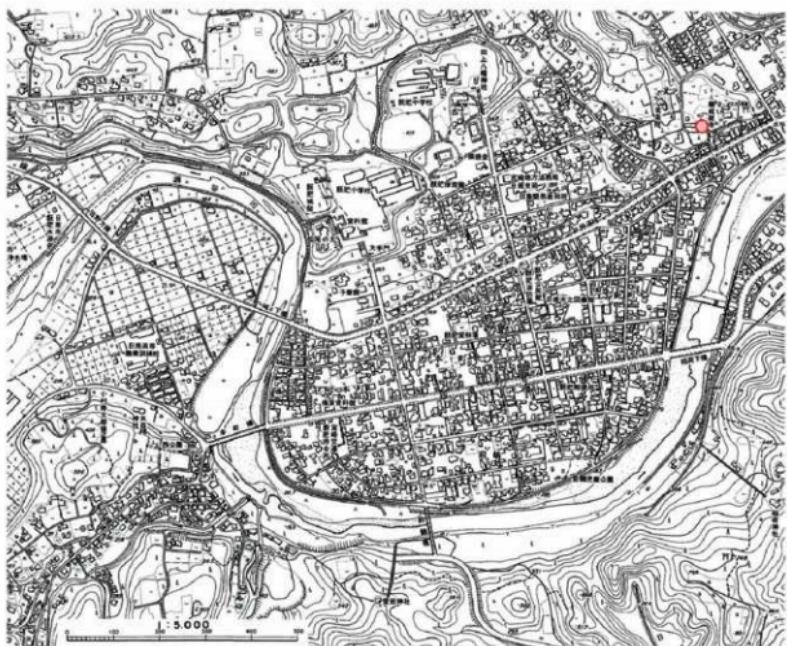
〔調査の経緯〕

願成就寺から、納骨堂を建設する旨の連絡があったため、現地で協議した結果、2m×2m程度の小規模なものであることから、掘削範囲のみを調査対象とした。当該地は樹木が数本あったことから掘削用重機を使用して樹木の除去と表土の掘削を行った。その後は人力で掘り下げた。

〔調査の結果〕

今回の調査の結果、擾乱土坑と土器小片が確認されたがいずれも時期を特定できなかった。

願成就寺納骨堂建設予定地 位置図



第1図

願成就寺納骨堂建設予定地 トレンチ配置図



第2図

願成就寺納骨堂建設予定地 トレンチ全景



図版 1

ダイナム宮崎日南店建設予定地

[位置と環境]

ダイナム宮崎日南店建設予定地は、日南市大字平野字元屋敷2686番外の広渡川と酒谷川に挟まれた水田地帯である。現状では周知の遺跡はないが、王子製紙日南工場に接した地区で、東側には弥生時代後期の影平遺跡が立地する独立丘陵がある。

[調査の経緯]

株式会社ダイナム（本社東京）が開発予定面積16,828.07m²の遊技場建設を予定したため、開発に先立って埋蔵文化財の有無について試掘調査を実施した。このうち、建物建設用地（1,621.90m²）を中心に、掘削用重機を使用して地下の土層堆積状況と、遺構、遺物の有無を調査した。

[調査の結果]

確認調査の結果、遺構、遺物とも確認されなかった。従来、日南市街地の平野部にはほとんど遺跡の立地が知られていない。このことがたまたま遺跡が発見されていないだけなのか、既存の調査が及ばない深度に遺跡があるのかは不明である。今回の調査でも、シルト質の土層が厚く堆積しており、遺跡の存在は確認できなかった。

しかし、当該地のボーリングデータによると、7.55m地下にシラス層が認められ、台地上とは大きく異なり、平野部の土層堆積が著しいこと、すなわち、平野部では深い場所にも遺跡が立地する可能性を示している。

ダイナム宮崎日南店建設予定地 位置図



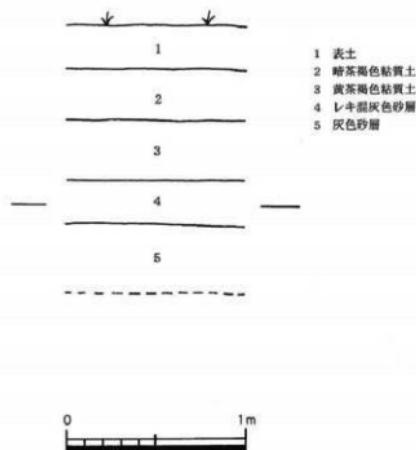
第3図

ダイナム宮崎日南店建設予定地 トレンチ位置図



第4図

ダイナム宮崎日南店建設予定地 トレンチ土層図



第5図

ダイナム宮崎日南店建設予定地 トレンチ調査状況



ダイナム宮崎日南店建設予定地 ポーリング柱状図

ポーリング柱状図

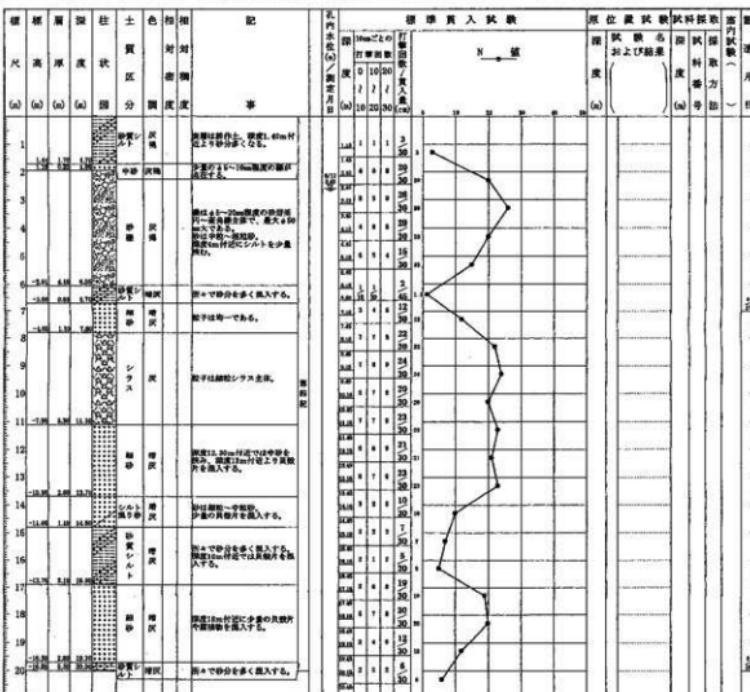
調査名 ダイナム(仮称)宮崎日南店新施工作事地質調査

ポーリングNo. []

事業・工事名

シートNo.

ポーリング名	N.D. 1	調査位置	日南市大字平野字元原敷2686番地外	北緯
発注機関				東経
調査業者名	西シラバ(株) 電話(093-643-1813)	主任技師 岩瀬 大輔 地質監督 吉田 YBM-05型 エンジン ヤンマーNPAE-9K型 ポンプ	試験機 坂東 大輔 岩瀬 大輔 吉田 GP-5型	福井 武光 責任者 コンクリー生 吉田 武光 ボーリング 機下用具 ポンプ
孔口標高	3.14m	方位 上 北 下 南 東 西 北 南 東 西	方位 北 東 南 西 北 東 南 西 北 東 南 西	
総延長	20.00m			



第6図

サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地
(古奥遺跡)

〔位置と環境〕

サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地は、日南市梅ヶ浜5828-24、5862-7に位置する。この地点は周知の埋蔵文化財包蔵地番号507の古奥遺跡内であり、遺構、遺物が出土する可能性が高いと予想された。

古奥遺跡は、過去に、梅ヶ浜地区内の道路側溝工事において、平安時代と考えられる布目压痕土器（製塙土器）が出土しており、当該地においても関連の遺構、遺物の出土が予想された。

〔調査の経緯〕

古奥遺跡内において、有限会社サンキョウから倉庫増設の確認申請があったため、工事に先立ち試掘調査を実施することとなった。調査対象地の面積は、6,695.5m²で、以前は市営住宅が建っていたが、現状は取り壊されており、平地となっていた。試掘調査は、倉庫柱の基礎部分を中心にトレンチを設定して、確認調査を実施することとした。

確認調査は、平成17年11月10日～11月16日までの間で実施した。調査方法は、対象地内にそれぞれ1.5m×1.5mのトレンチを3ヶ所設定し、遺構、遺物の検出に努めた。

〔調査の結果〕

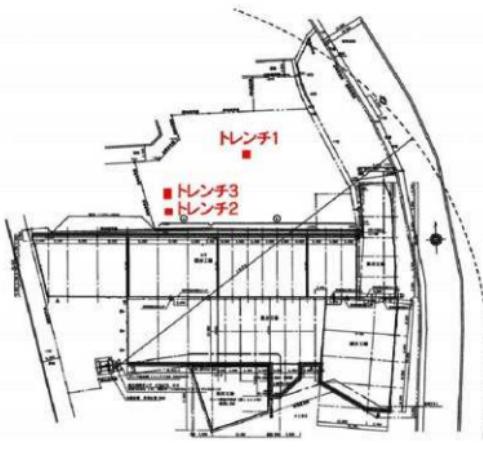
トレンチ1からは遺構・遺物とともに検出されなかったが、トレンチ2、3からは土師器片が少量出土した。いずれも摩耗が著しく、谷筋に向かっての流入と考えられる。

サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地 位置図



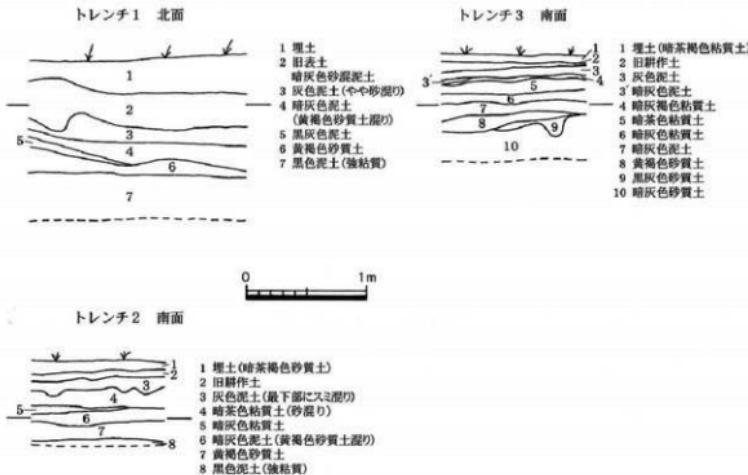
第7図

サンキヨウ紙工株式会社倉庫建設予定地 トレンチ位置図



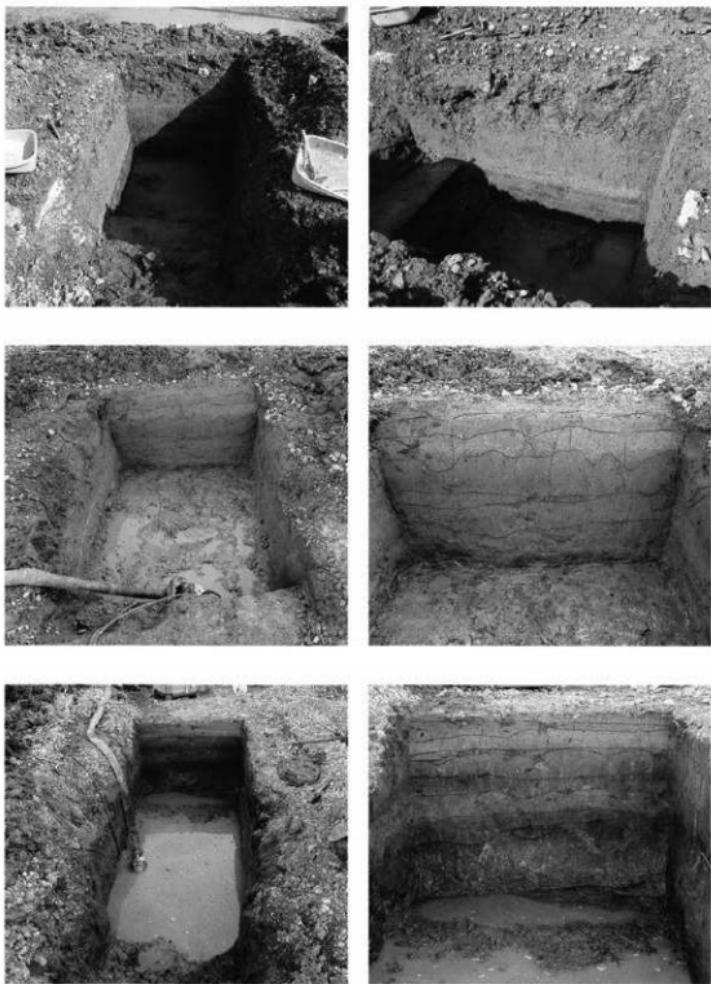
第8図

サンキヨウ紙工株式会社倉庫建設予定地 トレンチ土層断面図



第9図

サンキョウ紙工株式会社倉庫建設予定地 トレンチ調査状況



MRTラジオ局及びメガソーラー建設予定地
(八幡原遺跡)

〔位置と環境〕

MRTラジオ局建設予定地、ならびに太陽光発電大規模施設建設予定地は、日南市大字楠原字奥原及び字八幡原に位置する。かつては日南ゴルフセンターがあったが、現在は市の所有となっている。

この地点は周知の埋蔵文化財包蔵地番号315の八幡原遺跡内で、近接して原坂ノ上遺跡があり、多数の遺物が散布することから、遺構、遺物が出土する可能性が高いと予想された。

現況は、酒谷川右岸のシラス台地上のゴルフ場跡地である。

〔調査の経緯〕

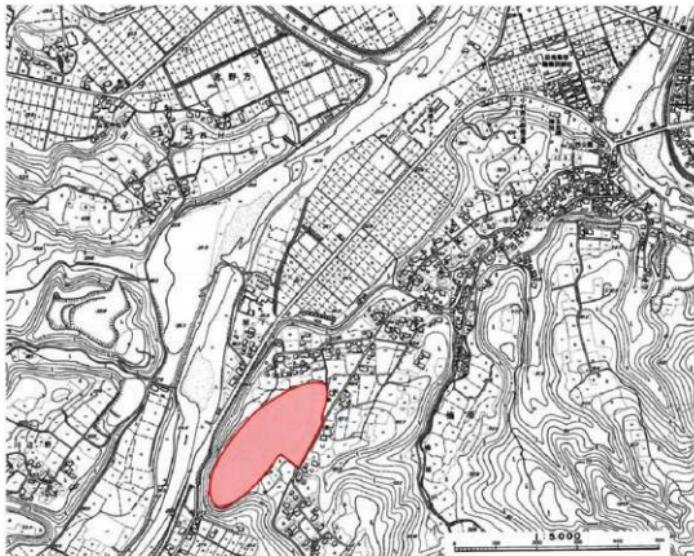
調査対象地の面積は、MRTラジオ局建設予定地が6,079m²、太陽光発電大規模施設建設予定地は15,000m²である。以前はゴルフ場として利用されていたため、表土が大きく削られている場所が多いと予想されるため、今回の調査では、調査対象地全域にトレーンチを設定して、遺構、遺物の有無を確認した。

試掘調査は、平成18年2月14日～3月3日までの間で実施した。調査方法は、対象地内にそれぞれ1.5m×2.0mのトレーンチを12ヶ所設定し、遺構、遺物の検出に努めた。

〔調査の結果〕

今回の調査の結果、太陽光発電大規模施設建設予定地内のトレーンチ4からトレーンチ8までは表土以下、アカホヤ層より下層までがすでに削平されていた。一方、MRTラジオ局建設予定地においては、比較的原状を保っていると見られ、トレーンチ9から縄文後期のものと思われる土器が確認された外、トレーンチ12からも少量であるが土器片が出土した。しかし、明確な遺構は検出できなかった。

MRTラジオ局外建設予定地 位置図



第10図

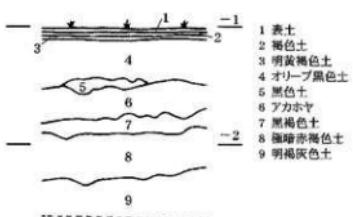
MR T ラジオ局外建設予定地 トレンチ位置図



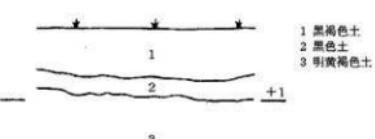
第11図

M R T ラジオ局外建設予定地 トレンチ土層断面図その1

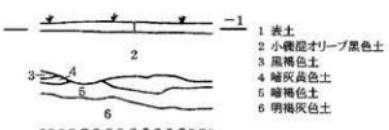
トレンチ1 北面



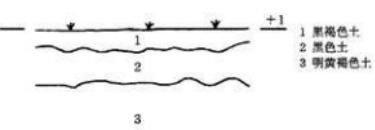
トレンチ4 北面



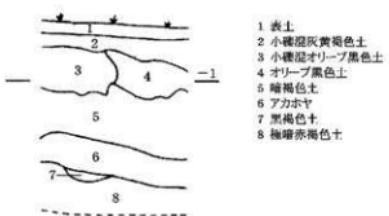
トレンチ2 北面



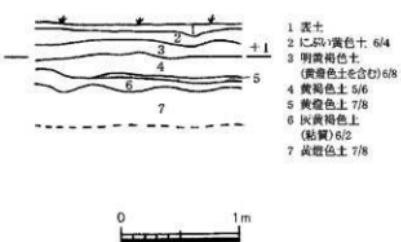
トレンチ5 北面



トレンチ3 北面



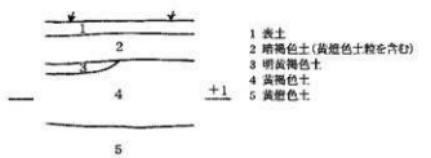
トレンチ6 北面



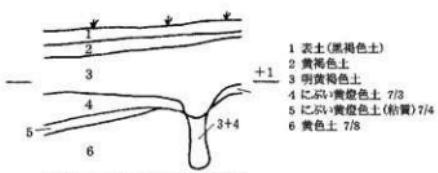
第12図

MRTラジオ局外建設予定地 トレンチ土層断面図その2

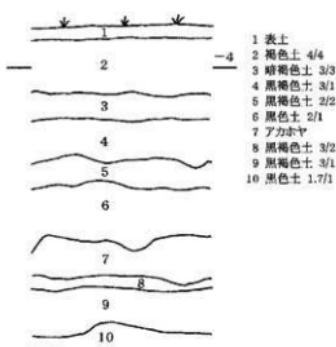
トレンチ7 北面



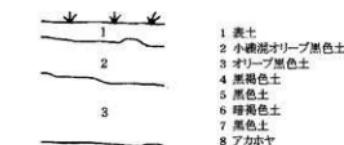
トレンチ8 東面



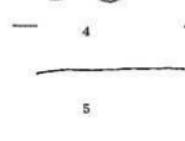
トレンチ9 北面



トレンチ10 北面



トレンチ11 北面



第13図

MRTラジオ局外建設予定地 トレンチ調査状況その1



トレンチ1



トレンチ2

MR T ラジオ局外建設予定地 トレンチ調査状況その2



トレンチ3



トレンチ4

M R T ラジオ局外建設予定地 トレンチ調査状況その3



トレンチ5

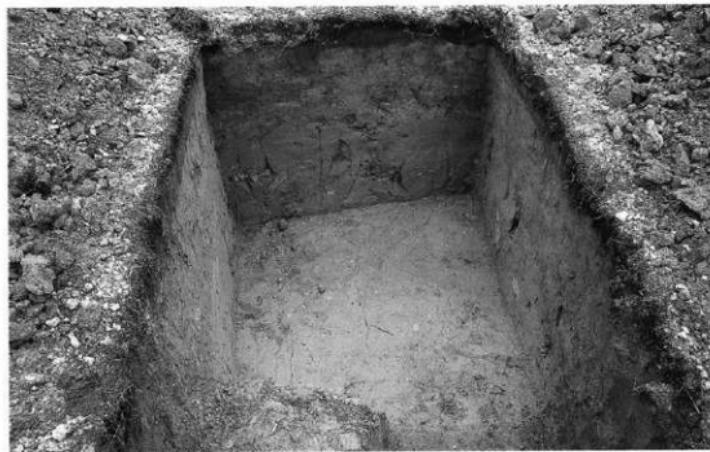


トレンチ6

MR T ラジオ局外建設予定地 トレンチ調査状況その4



トレンチ 7



トレンチ 8

M R T ラジオ局外建設予定地 トレンチ調査状況その5



トレンチ9



トレンチ10

MR T ラジオ局外建設予定地 トレンチ調査状況その 6



トレンチ 11



トレンチ 12

MRTラジオ局外建設予定地 トレンチ調査状況その7



作業状況



作業状況

鶴戸山別当墓地周辺調査

〔位置と環境〕

市指定史跡の鶴戸山別当墓地は、鶴戸神宮がある鶴戸崎のうち、市指定史跡の鶴戸山八丁坂の最高所から南へ入った標高約100mの日向灘を見下ろす尾根部に位置する。この八丁坂の最高所から鶴戸山別当墓地にかけては、鶴戸山仁王護国寺関係者や門前町、さらには鶴戸地区住民の墓地として使用されていたが、明治に入ってからの廃仏毀釈や鶴戸地区の墓地移転に伴い長らく放置されて、現状は林野となっている。

しかしながら、古代から信仰の地として栄え、中世以降は南九州でも有数の修驗道場であった鶴戸山の墓地として、遺構、遺物が出土する可能性が高いと予想された。

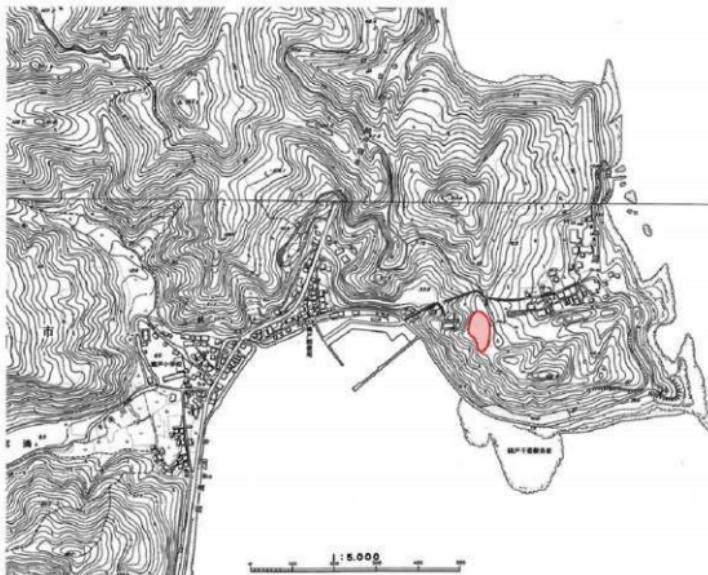
〔調査の経緯〕

近年、当該地に携帯電話基地や防災無線基地等が相次いで建設され、その際、多くの墓石が動かされている状況から、墓地全体の範囲と地表面から観察できる紀年銘の読み取りから墓地の全体像をおおまかに把握することを目的として、樹木の伐採と墓石の検出を行うこととした。

〔調査の結果〕

調査の結果、八丁坂の最高所から鶴戸山別当墓地にかけては、墓石から判断する限りにおいて、江戸時代全期を通じて、多数の墓が集積されている。地下遺構については今回未調査であるが、中世に遡る墓も含まれていることは確実である。したがって、当地方の葬送儀礼を研究する上で重要な遺跡であり、今後の調査研究が待たれる。

鶴戸山別当墓地周辺調査 位置図



第14図

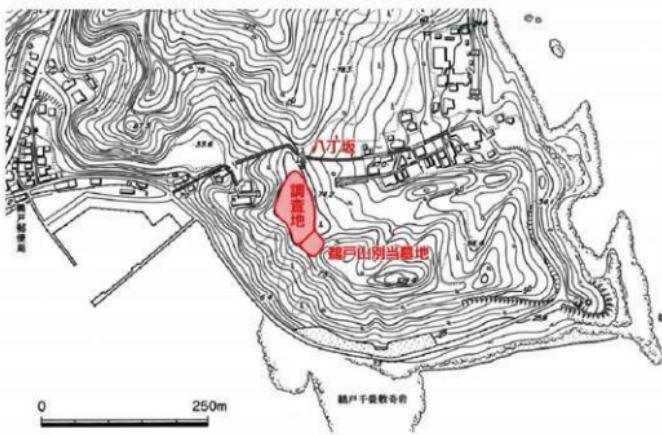
鶴戸山別当墓地配置図



第29世 賴祐法印	第30世 快祐法印	第35世 實慶法印	第36世 實祐法印	第37世 實耕法印
第38世 實祐法印	第40世 實譽法印	第41世 實仙法印	第42世 實賀法印	第43世 良譽法印
第44世 隆實法印	第45世 隆真法印	第46世 隆珍法印	第47世 隆岳法印	第48世 隆賀法印
第49世 隆成法印	第50世 隆仁法印	第51世 隆峯法印	第52世 隆德法印	第53世 隆長法印
第54世 隆貢法印	第55世 隆潤法印	第56世 伯仁法印	第57世 隆弘法印	

第15図

鶴戸山別当墓地周辺調査 位置図（拡大）



第16図

鶴戸山別当墓地周辺調査状況



着手前



調査状況

図版11

日南市埋蔵文化財調査報告書 第21集

平成17年度 日南市内遺跡発掘調査概報

2006年3月

編集発行 宮崎県日南市教育委員会
〒887-8585 日南市中央通1丁目1番地1
電話 0987-31-1145

印 刷 ハヤノオフセット
〒889-2533 日南市星倉2丁目1番地10
TEL 0987-25-0162 FAX 0987-25-1097